

7. 教職支援の活動

- (1) 公立学校を希望する学生を支援するため、充実したプログラムを準備している。教職教養、一般教養、専門教養の筆記試験対策、面接試験対策等を実施しており、指導は元校長など学校現場の経験者が行っている。
- (2) 学生時代に多様な経験をさせるために、学校支援ボランティアなどのボランティア活動を推奨しており、現在19の教育委員会と学校ボランティアの連携協定を締結している。多数の学生が、学校での授業や学級経営の補助、特別支援教育の補助、自然学校や神戸市ジュニアリーダーなど野外活動等に参加し、教職への理解や子ども支援の方法などを学校現場で学んでいる。さらに大学内に設置された子育て支援ひろば「すくすく」では、幼児教育・保育コースの学生が子育て支援のプログラムに参加し、遊びを通して保育を学んでいる。平成20年1月の開設以来、約67,000人が利用し、学生ボランティアは延べ約8,702人が活動に参加している。(2023(R5)年3月末)